

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

10月 図書館カレンダー

2025 年		October						
日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31			

■休館日：
月曜日（祝日の場合はその翌日）、
図書整理日
○お話し会：
10月11日 午前10時
ハロウィンお話し会

読書週間に先がけ、貸出促進キャンペーンを実施します。期間中に、本やCD、DVD、雑誌などを21点以上借りた方の中から、抽選で100人の方にかすみがうにグッズをプレゼント！文化の秋を彩るコンテンツは、ぜひ図書館で。

【図書館貸出促進キャンペーン】

期間：10月1日～11月9日

場所：図書館本館（霞ヶ浦コミュニティセンター）

対象：図書館利用カードをお持ちの方

目標点数：21点（本、AV資料、雑誌）

※家族など、他の人のカードで借りた本は

カウントされません。

※分館・中央出張所の貸出レシートも含まれます。

※延長した本などはカウントされません。

応募方法：応募用紙に貸出レシートを貼付し、本館カウンターに提出。

※11月19日 館内掲示・図書館ホームページで当選発表をします。当選者の方は本館カウンターへお越しください。



トートバック

自由帳

フェイスタオル
など

参加者募集

市読書会連合会文庫のつどい講演会「子どもと本をつなぐ」

日時：10月25日 午前10時～正午

場所：下稲吉コミュニティセンター 講習室

講師：茨城町おはなしの会しらゆきひめ 青木いづみ先生

参加費：無料

定員：25人（申込順）

申込方法：かすみがうに市立図書館までお電話ください



ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



図書館 ☎ 029-897-0647

文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会	手花火や固唾をのんで見つめる子	桜井筑蛙
	さわやかに百歳の母おしやれして	鈴木けい子
	炎帝のどつかと座り秋遠し	中島暉子
	獅子頭堂々として炎天下	萩原初枝
	夕かなかなさてと厨に立ちにけり	福田妙子
	新涼や霞浦一望の露天の湯	飯沼礼子
紫陽花俳句会	新涼を待ち侘び長し一日かな	島田和子
	名月の明りに揺れる桔梗花	島田昌男
	涼あらたまだまだ続く日焼策	原田佳世子
	新涼に背中丸ごと洗わるる	藤本管生
出島短歌会	ありがとうって施設の皆の祝福に歩む百歳のおみなに乾杯	岡田恭子
	盆明けの気怠い体にキンキンと冷えた西瓜が身に沁みる午後	仲谷香代子
	迫り来る離れる折に込み上げる滲む涙をそっとふく孫	鈴木隆夫
	故郷の空き家の庭の草刈れば孫の手のあとトラ刈り楽し	薬師寺玲子
投稿作品	自転車に空気を入れただがしかし亡き妻はもう乗ってくれない	矢口哲雄
	夏空の夢散る土に頬伏せる吉川投手よ泣け明日がある	中島良平
	九十路に出逢いし人の温もりを心の糧に今日も明日も	沽野はつ子
	炎天下健気に咲けし花桔梗その佇まい凛とせしなり	岡田よう子
	暖かき人の情けを心して日々を過ごすも楽しき時か	石塚清
	静寂なり足元照らす白提灯微笑む姿幻なり	飯島すみ子
	みずいろのベディキュアおとす初秋かな	竹村啓子
	草取りにあまたの蛹起しけり	秋一浄
	星涼し生け垣洗う雨を乞い	中村耕二

投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。10月6日まで情報広報課（〒300-0192 大和田562）へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。

WEBで投稿
できます



博覧会の歴史と かすみがうら市

2025年は、大阪万博（「万博」は「万国博覧会」の略称）が開催されている記念すべき年です。博覧会とは、産業や学術などの振興を目的としてさまざまな物品などの資料を集め、一般に公開する催しのことです。

世界的には、フランス革命の時期にパリで開催された博覧会がその先駆けとなるものです。慶応3年（1867）、第2回パリ万博には江戸幕府や佐賀藩・薩摩藩が参加しています。そして明治6年（1873）のウィーン万博には、明治維新政府が正式に参加し、出展作品の絵画作品や工芸品が話題を呼び、ジャポニスムを巻き起こしたことが知られています。

国内における初めての博覧会は、明治4年（1871）に京都の西本願寺で開催された第1回京都博覧会です。この博覧会は京都府と民間が共同で開催し成功を収めています。明治10年（1877）には、殖産

興業政策の一環として第1回内国勸業博覧会が開催され、会場の上野公園には100日余りの開催期間中に約45万人の来場者が殺到しました。

当市に関わりのある博覧会として、折本良平が帆引き船を出品した第2回水産博覧会（明治30年（1897）開催）や、ソーセージの父の飯田吉英が主任審査員を務めた第1回畜産工芸博覧会（大正7年（1919）開催）などが知られています。昭和60年（1985）には、つくば万博が開催されました。7月17日は「出島村の日」で、帆引き船の展示や戸崎ばやし・成井ばやし・へいさんぼうなどの伝統芸能の披露、鯉のつかみ取り、出島音頭の演奏などが催されました。9月4日は「千代田村の日」で、佐谷ばやし・土田ばやし、逆西・佐谷・志筑・土田のお神輿、特産物の紹介や配布などが行われました。いずれの日も、来場者で賑わったと伝わっています。



歴史博物館

☎ 029-896-0017

歴史博物館所蔵のつくば万博資料

人生の 先輩

健康の秘訣をお聞きました

～地域でつながる健康維持～
逆西11区 ふれあいサロン



ふれあいサロンの様子

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方

応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。

右記の二次元コードからのご応募も可能です。

掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。



▶詳細

情報広報課（霞ヶ浦庁舎）
☎ 029-897-1111